

なかしゅんべつ

2013
7
No.426



目次

中春別農業協同組合通常総会 2~5	女性部のページ..... 11~13
中春別酪農対策協議会通常総会...6	豊原運動会、中春別小学校運動会 14~15
根釧合同青年部・女性部TPP反対上京活動 8~9	JA中春別乳牛共進会...16~17
青年部のページ..... 10~11	年金友の会のページ... 20~21

豊原地区のみなさんが集い、運動会を開催しました。子供達からお年寄りまで笑顔がこぼれ、楽しい地域の交流を図りました。

「活気と潤いに満ちたゆとりある 中春別」の振興と更なるステツプアップ



第39回中春別農業協同組合通常総会が6月4日、農業者
団地センターで開催されました。

総会に先立ち優良組合員、
乳質改善・良質乳生産組合
員、経営移譲感謝状授与者、
永年勤続職員、新規就農激
励状授与の表彰授与が行わ
れました。

開会にあたり小湊組合長
より「我が国の経済は昨年



ございますが、政府はこの国の
形を大きく変える可能性の
ある、TPPへの交渉参加を
表明し、大変憂慮される問
題となっております。

本日総会の中で「TPP
交渉参加断固反対並びに北
海道農業の確立に関する決
議」を提出させていただきました
ますが、第一次産業を基幹
産業とする当地域の経済・
社会の全体の衰退を招く、
大きな影響を及ぼすこの参
加表明につきましては、容
認できるものではありません。
断固阻止をしなければ
なりません。

末の政権交代により、デフレ
からの脱却を最優先課題に
掲げ、積極財政・金融緩和・
成長戦略等を打ち出し、円安・
株高基調の中、国内景気は
持ち直しの兆しを見せ始め
ていますが、まだまだ私共
の実感となっていないのが
実態でございます。

○ 農業を取り巻く情勢でこ

一方、政府は農業分野に
おいて、産業競争力会議や
農水省内に攻めの農林水産
推進本部を設置し、農業の
競争力強化や輸出拡大につ
いて検討が進められており
ます。酪農畜産にあつては、
特に生乳需給に関しては短
期間での逼迫と緩和を繰り返

返し、生産と需要との時期ずれが生じ、結果的に需要を減少させる事態を繰り返している現況にあります。

酪農生産基盤の安定

こうした中、平成25年度の酪農畜産対策について、経営安定対策は1770億円と30億円の増額、畜産振興事業は176億円と前年度対比34億円とそれぞれ増額措置をされていますが、国としても酪農畜産現場の厳しい実態を認識するとともに生産意欲を喚起するべく、これらの有効な活用が肝要であります。加工原料乳生産者補給金単価は35銭引き上げ12円55銭となり、これにチーズ対策15銭・加工原料乳確保緊急対策30銭、これらを合わせ80銭引き上げた13円となりまして生産意欲にはプラスとなりましたが、円安に伴う生産諸資材の高騰という不安要素があることから、状況に応じては期中改定を含めた各対処が必要と思われます。

限度数量は現状維持を期待いたしました。未達の

状況が続く中で削減幅2万トンと最低限に抑えることができました。本年度の用途別原料乳価格については、現在大詰めであり最終の交渉段階にありますが、国産牛乳・乳製品を安定に供給し、需要の損失を招かないためにも酪農生産基盤の安定が不可欠でございます。可能な限りのプール乳価引き上げとなることを期待しております。近年、国際的な経済異常が短期間で変化しており、加えて想定以上の異常気象や自然災害が発生し、生産現場における悪影響がもたらされるようになりました。今後情勢に大きな変化が生じた場合には、機動的な対策の検討が必要と認識しております。

平成24年度の当地区内牛乳生産実績は、11万9310トンで前年対比102.3%の実績でありました。残暑や分婉時期のずれなどによる悪条件下の現場において、組合員の皆様をはじめ、ご家族が一丸となつて牛乳生産に取り組まれた日々のご努力に対しまして、敬意を表すると共に感謝を申し

上げるさせていただきます。昨年度からの第8次牛乳安定生産対策では、生産基盤維持拡大のため全道一律の目標伸び率103%と設

であります。

後期「地域農業ステップ・アップ計画」

昨年は国際協同組合年に



定されておりませんが、後に繋げるためにも目標数量の達成を切願しているところ

あたり、全国農協大会・全道JA大会が開催されました。北海道大会では、今後3

カ年の基本方針は「協同活動でつくる持続可能な農業と豊かな地域社会」と「次代を担う協同の実践」を決議しました。当農協も厳しい酪農畜産環境に直面する中、平成22年度に樹立した地域農業振興計画である「地域農業ステップ・アップ計画」が前期の3年を経過し、本年度からの3カ年を後期と位置づけ、昨今の情勢を鑑みて「人・農地プラン」による地域農業の再構築・営農支援体制の更なる充実・資源循環型酪農の確立と、引き続き担い手の育成を始め、将来に亘る酪農経営の向上を目指した環境づくりに取り組むべく、農協事業の第9次中期経営計画と共に目標を掲げ本日の総会にお諮りいたします。ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

近年、環境問題が表面化される中、町内においても家畜糞尿や雑排水が河川に流失する事故が発生いたしました。生産現場における「良質・安全な牛乳生産」は基より、生産活動は地域他産業との理解と信頼を得るべく、牛舎周辺の河川環境に十分

配慮し、適切な管理と処理
を実践し環境規範を遵守す
ることが重要と再確認を重
ねてお願い申し上げます。

J A の 事業成果について

平成24年度のJ Aの事業
成果につきましては、補給
金を含めた生乳・個体を合
わせた総販売高は121億
円となり、計画以上の実績
を上げることができました。
これも組合員とご家族皆様
の日頃の弛まない努力とJ
A事業へのご理解・ご利用の
賜物と深く感謝するしだい
であります。後ほど議案の
中でご説明いたしますが、
磐石で強固な財務基盤構築
のため、剰余金の大部分は
自己資本増強のため昨年と
同様に内部留保に向けたこ
とを組合員の皆様にお願
いするものでございます。

農業経営にとつて厳しい

環境の下ではあります。が、
組合員あつてのJ Aであり、
健全なJ Aであつてこそ、
組合員の支援も出来得ると
思っておりますので、一層の
J A結集とJ A利用を改め
てお願い申し上げます。本

総会に向けては、各農事組
合長を中心に組合員皆様の
多大なるご理解をいただき、
特に本年は役員改選期とい
うことで、推薦委員・協力委
員の方々には大変なご苦勞
をおかけいたしました。が、
本日の議案の提出が出来ま
すことを改めて感謝申し上
げます。

また、平成25年度は農協
スタンド前の道々が高規格
化に伴う工事着工準備に入
ることから、給油所の全面
移転による新設が余儀なく
されました。加えて根室中
部農業開発事業所が本町へ
移転し、関わる施設が撤去
されたことにより、将来を
含めた事務所周辺の有効利
用の検討が必要となりまし
た。農業共済組合中春別診
療所においては、組織再編
による移転に伴う結果とし
て当農協での施設利用を計
画し、本年度の事業計画に
計上したところでありませ
が、二連の整備に当たり農事
組合長会・青年部・女性部よ
り委員を選出していただき、
施設等有効利用検討委員会
を立ち上げ、長時間の議論・
検討を重ねて整備に関わる

答申をいただきました。各
組織と委員の方々に改めま
してお礼と感謝を申し上げ
る次第であります。同時に
組合員の皆様には、工事情
間中ご不便やご迷惑をおか
けすることとなりますが、
ご理解とご協力の程をお願
い申し上げます。

更なるステップ・ アップに全力

外的要因に影響される今
日の酪農畜産界ですが、怯
むことなく果敢に立ち向か
い、一歩一歩着実に健全な農
家経営並びにJ A運営を築
き、スローガンであります「活
気と潤いに満ちたゆとりあ
る中春別」の振興と更なる
ステップアップに全力を注
ぐ所存であります。組合員
の皆様にはご支援を含め宜
しくお願い申し上げます。

結びになります。が、行政
をはじめ系統連合会並びに
各関係機関に対しまして、
今後ともより一層のご指導
とご支援を心からお願いを
申し上げます。本総会に
あたっての挨拶とさせていただきます。
と挨拶がありました。



乳質改善・良質乳生産組合員表彰者 木原 誠さん



優良組合員表彰者 竹田 潤さん



経営移譲感謝状授与者 高野 政夫さん



乳質改善・良質乳生産組合員表彰者 山本 広行さん



引続き北海道根室振興局長・千葉均氏、別海町副町長・磯田俊夫氏、J A北海道中央会根釧支所長・横田勝美氏よりそれぞれ挨拶をいただきました。

議長には美原地区・寺井隆二氏、中春別地区・原内修氏が指名され議事に入りました。

議案第1号 平成24年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び注記表の承認から議案第7号退任役員に対する役員退

職慰労金の支給について提出された、全議案可決承認され、併せてT P P交渉参加断固反対並びに北海道農業確立に関する特別決議を総会参加者全員の賛成により決議されました。



閉会にあたり、兼松副組合長より「承認をいただきました平成25年度基本方針・重点事項・T P P交渉参加断固反対並びに北海道農業の確立に関する特別決議について、役員一体となつて取組んでまいる所存でございますので、組合員の皆様方におかれましては、より一層の組合結集と連携をお願いするところであります」と挨拶がありました。

**平成24年度
優良組合員表彰者**

竹田 潤

乳質改善・良質乳生産組合員表彰者

木原 誠
菅原 美香
山本 広行

経営移譲感謝状授与者

高野 政夫
馬場 文夫
金子 敏雄

永年勤続職員表彰者(30年勤続)

登 義直

永年勤続職員表彰者(20年勤続)

今井 亜希

新規就農激励状授与者

加藤 信宏
加藤 麻理子



経営移譲感謝状授与者 金子 敏雄さん



経営移譲感謝状授与者 馬場 文夫さん



新規就農激励状授与者 加藤 麻理子さん



新規就農激励状授与者 加藤 信宏さん

TPP参加交渉反対と、経営安定対策の実現要請運動を展開

中春別酪農対策協議会(望月英彦会長)では、JA中春別団地センターにおいて6月7日、西原町議、小湊組合長の来賓出席の中、第38回通常総会を開催いたしました。



挨拶をする望月会長

開会にあ

たり望月会長より、「平成24年度は第8期生乳安定生産対策事業の初年度であり、一律3%の増産計画下スタートと

なりましたが、良質粗飼料の確保や分娩頭数の増により前年対比102・3%の実績であった。また、酪農資材の原材料価格の高騰や円安により農家経済が圧迫され、さらには消費税増税やTPP参加交渉が参加表明され、我が国の食料供給政策の方向性が極めて不透明な状況に置かれた」と述べました。

今次の運動を振り返り、メーカーと指定団体による平成24年度用途別原料乳改定交渉において、プール乳価は2円30銭の引上げとなりましたが、再生産可能な経営安定対策の実現に向けた要請運動と、TPP参加交

渉反対に関する要請運動を重点課題として活動を展開したこと、恒例となった道農政部との意見交換には、生産現場における課題は正



の充実強化や、単年度対策に関わる継続要請を強く求めてきた事を報告しました。全道・地区酪農対策についてはTPP参加交渉反対を始

にに向けた要請など、加えて農水省生産局畜産部並びに主要代議士に対し、経営安定対策と自給飼料生産対策

運動展開が必要との認識を示しました。日頃より会員各位の理解とご協力をお願い申し上げます。

め、価格・関連対策における組織的議論を積極的

に検討し、各地区代表選出の中央要請にも協調して取り組み、現状を捉えた中では、恒常的対策の確立と地域特性を踏まえた政策要求に向け、実効性のある

事へと進行いたしました。議長には中春別地区・石森裕治氏が選出され、議案第1号から4号まで全て可決決定されました。



議長に選出された石森氏

平成25年度の新役員構成は次の通りです。

- 会長 西川寛稔(新)
- 副会長 渡邊 覚(新)
- 副会長 寺井隆二(再)
- 副会長 原内 修(再)
- 会計 兼松真武(再)
- 監事 上田泰治(再)
- 監事 久末敏幸(新)
- 監事 村山英司(新)

本年度も昨年度同様、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

札幌市民にTPPの危険性を呼びかける

JR札幌駅前
街頭宣伝



根室生産農業協同組合連
合会作成のちらし「TPP
が私達の暮らしを破壊する」
を、札幌市のJR札幌駅前
で街頭宣伝をおこないまし
た。

津・今井組合長、JA計根別・
西塚組合長、JA道東あさ
ひ・原井組合長も加わり、札
幌市民に、ちらし・パンフな
どを配布しました。



「置き換わる」
「根室地域全
産業への影響」
などで詳しく
くは、ちらし
を広報誌「な
かしゅんべつ」
と一緒に送付
いたします
ので、ぜひ読
んでいただ
きたいと思
います。

食農教育を進める食農事業 食と環境など 農業を理解するきっかけに

JAバンクでは、子ども
たちへの食農教育を進める
ため補助教材を中春別小学
校5年生29人、野付小学校
19人に進呈しました。

農業や食について意識し
てもらおうよ
うに、「J
Aバンクア
グリ・サポ
ート基金」
を活用し、
今年で6年
目を迎えた
食農事業で
す。



食農教育にて中春別小学校と野付小学校へ補助教材を進呈しました

根釧合同JA青年部・女性部による TPP交渉参加反対上京活動に参加して

JA中春別青年部副部長 野矢 貴志

関係国会議員へTPP反対要請活動、 座り込み街頭活動を実施！

去る5月13～14日1泊2日において根釧合同JA青年部・女性部によるTPP交渉参加反対上京活動に根釧地区青協・女性協合計11人が参加のもと、関係国会議員への要請活動並びに座り込み街頭活動を開催いたしました。



衆議院第2議員会館前にて、座り込み活動を敢行する



地元選出財務大臣政務官伊藤良孝議員にTPP交渉反対の要請書を提出

地元選出伊藤良孝議員、道内選出議員に
TPP交渉反対要請書を提出

1 日目 地元選出財務大臣
政務官伊藤良孝先生
を訪ねました。伊

藤先生にTPP交渉参加反
対に関する要請書を提出し、
「農業者一同TPP交渉参

加に断固反
対する」と
強い想いを
伝え、伊藤
先生より「当
初からTPP
交渉参加
には反対で
あり、今で
も変わらない。
しかし現状
TPP交渉
参加阻止に
は厳しい状
況に立たさ
れている。
しかし、今
後若者が未
来に希望を
持つて酪農

に打ち込めるような政策を構築していくため忌憚のない意見交換会を行いましょう」と意見交換会へと移りました。

食育活動や離農跡地増大の歯止め対策、新規就農者の円滑的な就農、効率的な跡地利用、釧路港のバルク港への開発構想などご多忙の中、大変幅広い内容の意見交換をさせていただきま

した。次に2班に分かれ、衆議院会館及び参議院会館へ足を運び、道内選出議員のもとにTPP交渉参加に対する要請書を提出すべく、会館を駆け巡りました。不在の議員も多数いましたが、秘書や事務所関係者にしっかりと青年部の熱い想いを届けて参りました。

その後、議員会館を後にし農水省へと移りました。農水省では稲津農林水産政務官に対応いただき、意見交換会を行いました。「重要5品目の関税撤廃阻止に全力で取り組んでいく！」と力強いお言葉をいただきました。伊藤先生に引き続き根

拠酪農地域における諸問題や現状、希望の持てる酪農業へと打ち込めるよう要望し、活発な意見交換会となりました。

また、生産局畜産部・原田部長も訪問し、根釧地区の酪農情勢とTPP参加交

渉についての農水省としての動きや最新の情報を互いに交換してきました。その中で「このようなTPP交渉参加反対活動は地道ではあるが、大変重要な事で継続していく事が大切である。大きな問題であるTPP問



題であるが過剰に恐れることなく、今よりも農業が発展するようお互いの立場でやれることを頑張っていこう」と勇気づけられました。

「日本の農業を守れ!!」 「地域を壊すTPP交渉参加に断固反対!!」 衆議院第2議員会館前で座り込み活動

その夜は各関係機関を交え懇親会を開きましたが、根釧地区合同の事もあり、大変新鮮なものとなりました。

2日 衆議院第2議員会館前にて、座り込み活動を行いました。蛍光ジャンパーに鉢巻、のぼりやチラシなどを持ち、道行く方にTPP問題について「地域を壊すTPP交渉参加に断固反対!!」「食の安心・安全を守れ!!」「日本の農業を守れ!!」と呼びかけました。

を支持していただいている、議員の方々、農水省職員の皆さんや一般の方々も接した事により、反対への意識が高まり、今後の仕事や反対活動にも力を入れていきたいと感じました。

今回の活動を通し、多く収穫することがあった

また、根釧地区青年部・女性部の参加者の方々との交流を踏まえ、各代表者の発言力やコミュニケーション能力の高さも勉強になり、自分にはないものや足りないものが見つかりました。これは大きな収穫となり、これからの青年部活動に活かせるよう尽力したいです。

また立ち止まってくれた方にはボードにシールで賛成か反対の調査を行いました。だが、足早に去る方や冷たい視線の方など、世間の厳しさも感じましたが、TPPに反対の方も多数おり、「僕たちも地元で反対活動してるよ」「一緒に頑張ろ!」と賛同者に勇気づけられました。

今回の活動を終え、反対

オーレンス税務事務所による 税金の勉強会を開催

青年部（松井和孝部長）では、6月12日（水）にオーレンス税務事務所・松田隆史氏を講師に招き、所得税、



松田氏を講師に招き

青色申告、確定申告までの流れなど、ス

ライドによりわかりやすく説明していたいただきました。今まで深く理解していなかったところを繰り返し質問することにより、より理解することができ、半数以上が経営移譲をされてない青年部員にとって、今後の酪農経営に大い



スライドを使ってわかりやすく説明

に役立つ勉強会となったのではないのでしょうか。今回の勉強会に参加できなかった方で、興味のある方については資料がありますので青年部事務局（営農振興課河合）までお問い合わせください。また、今後の勉強会内容について、リクエストがあれば事務局までお願いいたします。

新人部員歓迎会をかねた 農協男性職員との交流会

青年部（松井和孝部長）では、6月5日（水）に今年度新たに青年部へ加入した5人の歓迎会及び



好プレー、珍プレーに歓声があがりました

農協男性職員との交流会を別海町ソフトボール球場と農村広場にて開催しました。始めに青年部員と職員の混合チームを作り、ソフトボール交流会を行った。好プレーには歓声、珍プレーには笑いが起こり、初チーム同士とは思えないチームワークをみせました。また試合内容も11・10と白熱しており、良い試合が展開しております。ソフト

ボール交流会を終了後、会場を農村広場へ移し、懇親会を行いました。新入部員等自己紹介を行い、職員・新入部員と焼肉を食べながら仕事・プライベートの会話などに華を咲かせ、終始穏やかな懇親会となりました。



ソフトボール終了後は焼肉を囲んで懇親会

広葉樹は保水力があり、 ミネラル豊富な海をつくります

野付漁協青年部主催による植樹祭

青年部（松井和孝部長）では、6月9日（日）に野付漁協青年部主催による植樹祭に参加いたしました。

当日は漁協・JA合わせで70人近くが集まり、スコップを片手に豊原地区へ集合しました。初めに植樹方法を実演していただき、いざ植樹。ナラやエンジュなど600本近くの苗木が用意され、次々と植樹を行いました。漁協青年部と当青年

部の合同取り組みは初めてのことで、青年部員同士と



70人程の人が集まり植樹に協力しました



顔に汗して丁寧に植えていきました

いうこともあり意気投合しており、今回を機に今後とも合同事業推進が開催できればと思います。参加されました皆様、お疲れ様でした。

「濃くて美味しい」と好評！ 牛乳、乳製品無料試飲・試食会を開催

青年部・女性部合同消費拡大運動

J A 中春別青年部（松井和孝部長）、女性部（齋藤道子部長）では、5月29日（水）に新千歳空港内東急店にて、参加者8人のもと牛乳、乳製品無料試飲・試食会を開催いたしました。

当日は乳業興社の商品4種類（牛乳、ハニーミルク、さけるチーズ、ブックペッパーゴード）を持っていき、空港を訪れている観光客に試飲試食していただきました。お客様か



青年部、女性部合同で店頭に立って消費拡大をしました



参加されたみなさんお疲れさまでした

らは「普段飲んでいるものより濃くておいしい」「ハニーミルク飲んだことなかったけど、甘くて飲みやすい」と生産者としては嬉しい限りでした。東急店には普段より多めに商品を入荷していただいたのですが、三角パック牛乳、ハニーミルクを完売するなど消費拡大運動として大いに効果があらわれたのではないのでしょうか。

青年部、女性部では今後も消費拡大に向け試行錯誤を重ね、より良い事業推進を行っていきたく考えております。

中春別農協女性部（齋藤道子部長）では6月14日（金）、共済組合勉強会と女性部懇談会を開催しました。



櫻井獣医師を講師に勉強会を開催

「暑熱対策と牛郡管理」、 ちょっと得する情報など勉強しました

共済組合勉強会・女性部懇談会

勉強会ではN O S A I から櫻井直人氏を講師に招き、「暑熱対策と牛郡管理」について勉強会を行いました。ヒートストレスが目で確認できる温度計についてや夏の繁殖、分娩の注意事項について、また、N O S A I のちょっと得する情報などを丁寧に教えていただきました。これから夏にかけての



女性部懇談会では活動について重点事項が報告されました

牛郡管理に役立てようと、皆さん真剣に話を聞き、最後まで質問をしておりました。

午後からは女性部懇談会が開催され、平成25年度の女性部活動について話し合われました。年間活動計画が報告された後、女性部活動についていくつかの重点事項を報告されました。

今年度では農協周辺の工事に伴う調理室工事についての意見が出され、みなさん積極的に話し合われました。

ちよつとしたポイントを教えてもらい、 とても可愛くできあがりしました

女性部 園芸グループ 寄せ植え講習会

6月17日(月)、女性部(齋藤道子部長)・園芸グループ(中村及子リーダー)では、中標津町にあるハートフラワーチャリーから講師を招き、農協事務所前にて寄せ植え講習会を開催いたしました。



講師の篠田さんからコツとポイントを教えていただきました

ハートフラワーチャリーから30種類の花が運ばれ、講師の篠田さんから土の作り方や寄せ植えのコツを学びました。「高さを出すもの、横に伸びるもの、ふさふさしたものを組み合わせるとバランスの良い鉢が出来る」と、ちよつとしたポイントを教わり早速実践した部員た

ち。枝などや飾りを付けたたり、つるを巻きつけたりするととても可愛く仕上がりました。
出来上がった鉢は7月いっぱいまで農協玄関前に飾られる予定です。



寄せ植えのコツを聞いて早速実践する部員のみなさん

ピンクの可愛い プリザーブドフラワーが完成!

JA根室地区女性協フレッシュミズ交流会

5月27日(月)、中標津町農業会館にてJA根室地区女性協フレッシュミズ交流会が開催され、当農協フレッシュミズ部会から4人が出席されました。
交流会では、午前中に別海町水沼和子さんにプリザーブドフラワーの置物の作り方を教わり、ピンクの可愛い置物が完成しました。
午後からはJA釧路地区フレッシュミズの交流ワークとして、事前にアンケートで回収したJA女性部・フレッシュ活



プリザーブドフラワーの置き物づくりを楽しみました

動や普段の生活で感じたジレンマ(判断に困ったという体験)について、それぞれ自分の場合どうするか答えを出し合い、それについて話し合うグループワークを行いました。どの答えも正解がないため、思い切り自分の意見を発表し合うことができ、子供がいて生活環境が似ている中、グループの全員の答えが一致し、盛り上がるグループも見られました。

夫婦仲良く家庭生活を円満にする 思考力向上のススメ

J A 根室地区女性部研修会

根室地区女性協議会(畠山友子会長)では、6月12日(水)JA根室地区女性部研修会を中標津町ウエディングプラザ寿宴にて開催し、当農協女性部から14人の部員が出席いたしました。

研修内容は日本イケダン協会会長・那須頭一氏を講師に招き、「コミュニケーション力と思考力向上のススメ」明るい家庭・仕事・組織、全てはアナタ次第」と題し、講演を行っていただきました。

今回の目的は夫婦・家庭生活を円満にすること、職場環境を円滑にすること、組織運営(人間関係)



日本イケダン協会会長・那須氏による講演



身近な話に熱心に聞き入るみなさん

を順風満帆にすること。自分自身をプロデュースして、強みや魅力を最大限に磨くポイントの4つを人間の心理や日本イケダン協会の格言とともに解説していただき、参加された皆さんは熱心に聞き入っている様子でした。

ボランティア組織そよかせ(久保二大代表)では、去る6月14日(金)に別海町にあるグループホームすずらんを訪問しカラオケでの慰問を行いました。

そよかせの活動としては今年で2回目の訪問ボランティアの実施でしたが、グループホームすずらんは初の訪問でした。会員の皆さんも最初は少し緊張の面持ちでしたが、カラオケが始まると緊張もほぐれ自慢の美声を披露しました。利用者の方たちも会員の皆さんと一緒に手拍子を



したり、知っている歌を口ずさんだり、会員の歌声に「素敵ねえ」とおしゃべりをしたり、と楽しんで聞いてくれていました。

また、カラオケの中盤では会員の自己紹介があり、生い立ちや開拓当時の話を懐かしむ場面もあり、利用者の方の中には涙ぐむ方もいらっしゃいました。場が和んだ頃には利用者の方からも歌のリクエストがあり、「祝い酒」など素晴らしい歌声を披露してくれました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ計14曲を歌い、予定の1時間を過ぎてカラオケは終了しました。カラオケの後はお茶とおやつタイムという事もあり、お茶を飲みながら利用者の皆さんと交流を深め、出身地や子どもの頃の話などで話が弾んでいました。

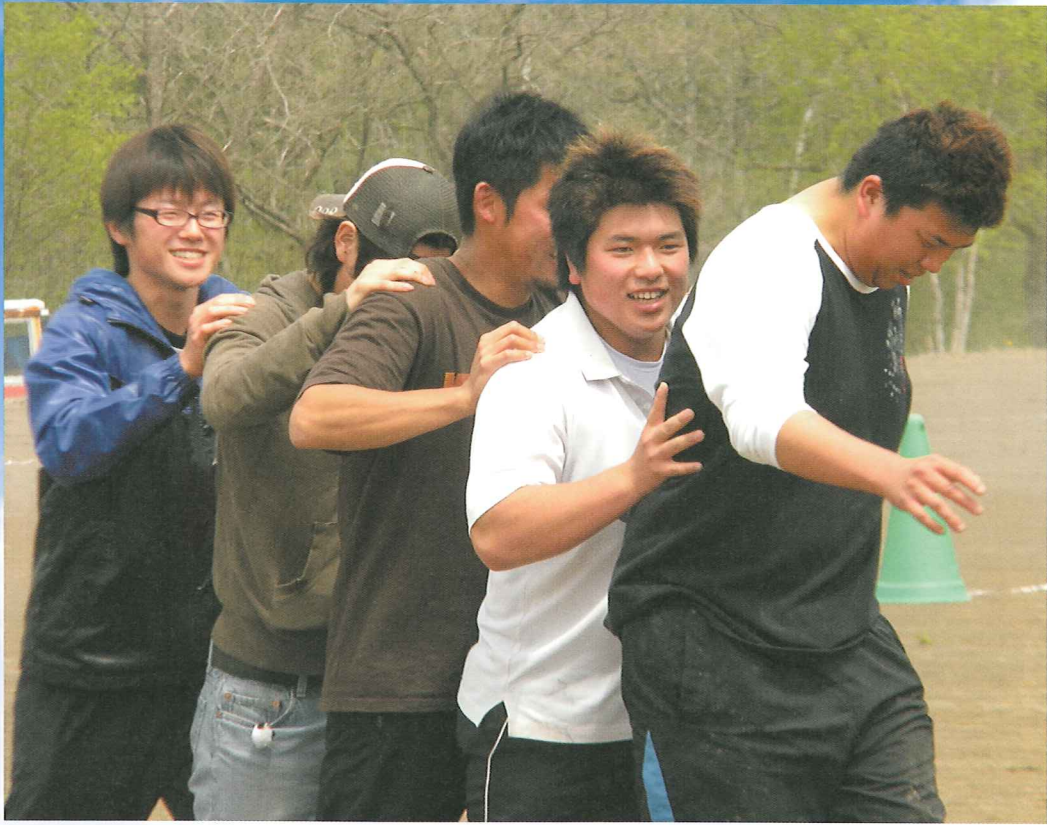
最後にそよかせの久保代表より挨拶があり、利用者の皆さんからは「ぜひ、また来てください」、「楽しかったですよ」と声をかけていただきました。帰り際も玄関まで見送りをしていただき、笑顔で手を振っていただきました。利用者の方の喜んでくれる声や笑顔が会員の活動の原動力となりました。

カラオケで自慢の喉を披露、楽しいひと時を過ごしました

そよかせ訪問ボランティア

汗を流して

息を合わせ、気持ちを一つにしてむかひで競争



旧豊原小学校グラウンドで、豊原地区運動会が6月1日(土)開催されました。

豊原地区運動会

練習や個人競技を練習し、当日は練習の成果をお父さんお母さんに披露していました。また、父兄が参加する競技や、親子で協力しながら参加する競技もあり観客からは終始賑やかな歓声此起彼伏していました。昼を過ぎたあたりには太陽も顔を出し、絶好の運動会日和となり、最後は懇親会の席を設け、地域の方との交流を深め、焼肉を食べながら楽しいひと時を過ごしました。

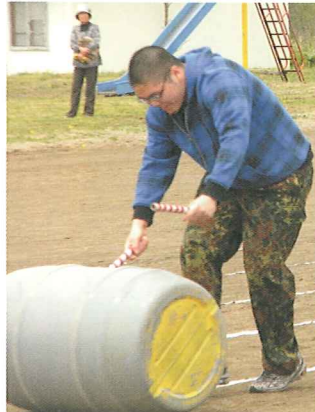
肌寒い天候の中での開会になりましたが、豊原地区の子供からお年寄りまで幅広い年齢層が競技に参加し、趣向を凝らした全16競技が行われました。子供たちはこの運動会のために踊りの



保育所の子供たちも真剣です



一生懸命に走ってゴールに駆け込みます



思うようにパンが食べられません

笑顔がはじける

6月8日(土)、子どもたちが待ちわびていた中春別小学校運動会が開催されました。

天候にも恵まれての開催となり、たくさん練習をした子供たちは張り切つて家を出たのではないのでしょうか？夏を思わせる暑さの中、子どもたちは元気に選手宣誓。

ラジオ体操で体をほぐした後、競技に移ります。1年生から6年生までが挑む徒競走では全力で走る子供たちの姿、それを見守る観客席から応援に混ざり笑い声が上がったりと終始大盛り上がり。お昼になるとお腹を空かせた子供たちは一目散に家族のもとへ向かい、お母さんの作ったお弁当でお腹を満たしました。

午後からは、運動会の定番である綱引き、組体操、リレーが行われ、家族たちの声援の中、自分の勇姿を見せようと口頃の成果を十分に発揮しました。



親子で息もぴったり



思わず手が出てしまいます

中春別小学校 運動会



お互い負けていません



順調にいきます



みんな力を合わせてガンバロウ！オーッ！



熱い ショウリングへ向け 愛牛たちが高レベルの競い合い!!



シニアチャンピオンに輝いた FR マツヨ リガレスト ET

6月10日(月)共和育成牧場において、平成25年度JA中春別乳牛共進会が開催されました。

開催に先立ち牛魂祭及び農作業安全祈願が行われ、



高藤裕審査員による審査講評

参列者による玉串奉奠が執り行われました。

当日は共進会日和の天候に恵まれ、40頭(未経産牛25頭、経産牛15頭)の出品があり、今後続く熱いショウリングへ向けレベルの高い競い合いを繰り広げました。

審査員にはオールジャパン・ブリーダーズ・サービス(株)指導部指導係長・高藤裕氏

があたり、厳正な審査のもと、わかりやすく審査講評をしていただきました。

会場はマリールドなどたくさんの花に彩られ、ジュニアリードマンショウや女性リードマンショウにおいても多くの人が参加していただき、子供達が一生懸命に牛を引く姿に観客や審査員も真剣になって見ていました。

思うように歩いてくれない牛に苦戦している子には、観客から「がんばれ!」という声援もあり、ほのぼのとした雰囲気の中、ショウが進められていました。また、青年部による焼肉や女性部によるミルク豚汁



の無料提供もあり、会場は大いに盛り上がりました。出品された皆さんには、春の共進会シーズンも一段落されたと思います。今後開催される長いショウリングにむけてご活躍をお祈りいたします。

平成25年度 JA中春別乳牛共進会チャンピオン一覧表

出品番号	名	号	出品者
902	シニア チャンピオン	FR マツヨ リヴェレスト	浮川 優
1003	リザーブ シニア チャンピオン	スウィートブライアー エlegant ダイアリー ET	竹田 潤
207	ジュニア チャンピオン	YMD インター アイオン スター	山田 博和
504	ジュニア リザーブ チャンピオン	MM メグミ フォーチュン メモリー	共和育成牧場

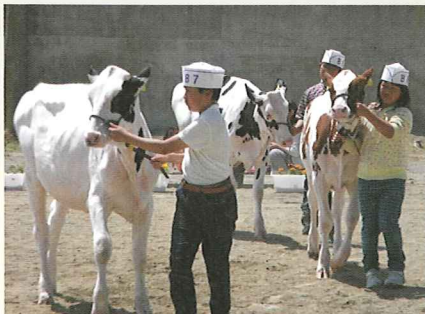
最多出品者賞 山田 博和牧場・竹田 潤牧場 (5頭出品)

最優秀ジュニアリードマン 牧野あかりさん (牧野 修二牧場) 参加者 9人

最優秀女性リードマン 能登 華さん 参加者13人

平成25年度 JA中春別乳牛共進会成績(1等1席)

出品番号	名	号	生年月日	父	牛	出品者
107	ポータージ ブレイク スレット		H24.10.15	パームクレスト	ブレイクアウト ET	牧野 修二
207	YMD インター アイオン スター		H24.6.20	ミッドフィールド	CCM アイオン	山田 博和
302	アビリティファーム アメリア ピーターチェ		H24.3.26	ジレット	ウインド ブルック ET	橋本 幸二
401	YMD ユリアナ ゴールド ロイ チャツキー		H24.1.9	UFM-ダブス	ゴールド ロイ ET	山田 博和
503	フアインビュー ローレル フレビー エボニー		H23.10.9	レデスマナー	ルビー D シャウト ET	島山 吉男
601	FR シェトラース サム		H23.5.23	レーガンクレスト	ミスター ダーハム サム ET	浮川 優
703	YMD ソプリン フリスキー オリアンティー		H22.12.27	テイウエーブ	ホリ フリスキー オール ブラックス	山田 博和
804	セイコー リンジエツト プラスタ ET		H21.8.29	コムスター	ストーマテイツク ET	宗像 卓郎
902	FR マツヨ リヴェレスト		H20.10.9	コムスター	リヴェレスト ET	浮川 優
1003	スウィートブライアー エlegant ダイアリー ET		H18.7.7	レーガンクレスト	ダンディー ET	竹田 潤



玉井文学館オープンセレモニーが6月1日(土)、豊原地区・玉井裕志(本名・玉井博)さん旧宅で行われ、別海町磯田副町長を始め、別海町各地からたくさんの方々が出席されました。



列席された方々に感謝の気持ちを述べる玉井館長

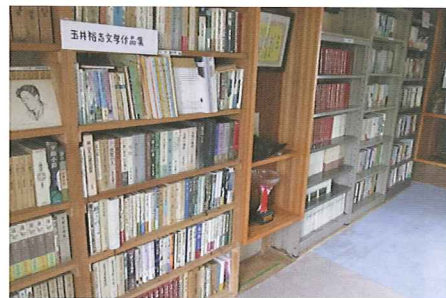
人の心を養い育てる文学作品

玉井裕志さんは「萌える大草原」で、北海道新聞文学賞(佳作)を受賞しており、月刊新根室に「原野の誘惑」を連載しております。

オープンセレモニーで玉井さんは、「私は原野の静かなところで本に囲まれて生きていきたいと思っています

した。しかし、離農を経験し、根室原野が大変厳しいことを知りました。離農した仲間たちは原野を離れて行きましたが、私は原野を離れませんでした。原野がとも好きだったので。この地域の方たちには、牛飼いをしていた時と同じように接し

玉井文学館オープンセレモニー



所蔵された文学作品の数々

いただいたことに感謝します。そしてこの度、廃屋となるはずだった自宅を見事甦らされました。私は命よりも大切な本を手放すことがとても辛い。文学作品は人の心を養い育てます。これからは自分の物ではなく、みんなの物なので、

是非みなさんに読んでいただきたいです」と日頃の感謝を交え出席者に喜びを語り、オープンを記念してテープカットが行われました。

午後からは中春別文化協会設立20周年記念講演が行われ、開会に先立ち、中春別文化協会初代会長の故阪口

守一さんと歴代会長故橋本幸岳さん、柴田健一さん、山田トミさん4人に感謝状が送られました。

講演会は中標津出身で現在城西国際大学人文学部教授、大学院人文学部研究科教授として日本文学、女性学を担当されています北田幸恵氏による「道

東文学の可能性と玉井裕志の作品世界」と題し、文化講演会が行われました。講演で北田幸恵氏は、玉井さんの作品の一部を読み上げながら「玉井さんの作品から離農していく人の愛情がよく伝わり、玉井さんの原点、根室原野の厳しい姿、自然風土の過酷さが大変わかりやすく書かれています」と解説がありました。



玉井文学館オープンを記念して

玉井文学館館長 玉井裕志
 場所: 別海町豊原3番地59(旧自宅)
 会館時間 午前9時から午後4時30分
 平日1日(曜日未定)と冬期間は閉館
 入館料 無料
 ※貸出は行っていません。

営農対策情報

根室農業改良普及センター

防疫体制は万全ですか？ 伝染病の侵入を防ごう

伝染性疾患発生状況(平成24年度) (頭)

病名	根室管内		北海道	
	家畜伝染病	届け出伝染病	家畜伝染病	届け出伝染病
ヨーネ病	54		316	
BVD-MD(真症)	8		124	
牛白血病	20		313	
破傷風	4		9	
サルモネラ症(*)	0		63	
ネオスポラ症	1		5	

※届け出以外のサルモネラが一戸1頭発生 根室家畜保健衛生所調べ

消石灰を播ごう

24年度の伝染病発生状況
昨年度の根室管内での伝染病発生状況をみると、ヨーネ病・白血病が目立つ一方で、サルモネラ症の発生が抑えられています。今年度も、サルモネラ症はもちろん、その他伝染病の発生を減らすための努力を継続していきましょう。

今の時期は、農作業が本格化し農場への人の出入りも多くあります。暑さもこれからが本番です。牛を疾病から守るため、農場の防疫体制を再点検してみましょう。

家畜伝染病の防疫体制は万全ですか？

① 消石灰の散布
車輻の防疫のため農場への取り付けに消石灰を散布しましょう。大型車両のタイヤ全周に石灰がつくように石灰を三〜四メートルの長さで散布してください。

② 石灰散布の頻度
降雨などで濡れた石灰は、乾くと見た目は同じでも消毒効果が劣ります。降雨後は速やかに散布しなおしましょう。



写真1 立ち入り禁止看板と石灰散布

と車輛を消毒するための設備(石灰など)を設けることとなっています。

複数の長靴で完璧を期す
踏込消毒槽の効果を十分に発揮させるのは、実は手間がかかる作業です。たまの来訪者ならいざ知らず、忙しい作業の合間に、完璧



写真2 踏込消毒槽 左上:ブラシ付き 中央:水洗槽

バリアの効果がありません。
踏込消毒槽を設置しよう
病原体は「人(靴)」に付着して農場内を移動します。建物すべての入り口に「踏込消毒槽」を設置しましょう。(写真2)

また、消毒薬は土や糞が混入すると瞬く間に殺菌効果が薄れます。消毒槽だけでなく、汚れを落とす「水洗槽」も併設してください。靴底の頑固な汚れを落とすために人工芝やブラシをつけることより効果的です。

病原性は外部から持ち込まれるものかもしれませんが、その病原体を農場内で広げてしまうのはそこで作業をしている人たちです。わずかな投資と手間で、疾病感染のリスクを大きく減らすことができます。是非検討してみてください。

病気は、予防と共に早期発見が重要です。外作業が忙しい時期だからこそ、目配りを忘れないようにしましょう。



写真3 飼槽作業専用長靴

に長靴の消毒が出来ていないでしょうか。
そこで、複数の長靴を用意し、作業ごとに履き替える方法があります。

① ほ育牛(牛群で一番弱い牛)を扱うとき
② エサに関わる作業(エサやりや掃き寄せ、飼槽掃除など)をするとき



松前の桜
咲き誇る桜の前で記念写真を

「雪降ってるね」と一同つぶやくなかでの旅の始まり。今回、年金友の会では5月12日から15日までの3泊4日の日程で函館・登別へと17人の参加者のもと春季旅行を行いました。

■初日 季節はずれの雪が 間に追われる中での移動。降る中、早朝よりバスを走 函館に到着後、バスガイドらせ釧路空港へ。そこから新 さんによる案内のもと昼食千歳空港経由の函館へと時 を食べに稜雲亭湯の川へ。美

ひと足早く満喫してきたよ!

美味しい料理に舌鼓を打ち、食後の運動にと敷地内にある広場を散策。春の日差しを満喫したところで、トラピスチヌ修道院、五稜郭タワー・五稜郭公園・函館奉行所へ。五稜郭タワー上層から見る桜に目をうばわれ、一同しばらく動かない様子。下に降り、公園、奉行所を見学し泊まりのホテルへ。夕食後、日も暮れたところで函館の夜景を見に函館山へ。道中、バスの中から見る夜景に歓声をあげ、頂上に着き「きれいな夜景みるぞー」と一同楽しみにしていたのですが、夜景どころか「一寸先は雲!!」と何も見えずに、函館山を後にし、ホテルへと戻り1日目終了しました。

■2日目 「函館に来たらここへ行かなきゃ!」と早朝より函館朝市へ。新鮮な魚介類に舌鼓を打ち試食ばかりと、朝市を満喫し、松前の桜まつりへ。春の風にばらばらと舞い散る桜に、普段見ることのできない景色に感動し、一足早く春を感じ、2日目の宿泊先・湯の川へ行き、温泉にゆつくり浸かり旅の疲れを癒しました。



昭和新山の頂上にて、まだまだ元気一杯です

■3日目 ホテルを出て大沼公園の遊覧船に乗った後は、昭和新山へ。ロープウェイで中間まで登り、せっかく来たのだからと目指すは頂上。軽快な足取りについていくのがやつと。景色と空気を楽しんだ後は地球岬へ。辺り一面の青い海に湾曲を描いた景色は、地球の丸さを物語っていました。地球岬を堪能した後は、地獄谷へ。鼻を突き刺すような硫黄の臭いを思い出し、宿泊先の登別温泉へと行き、身も心も癒しました。

■最終日 北海道の伝統民族のアイヌ民族博物館へ行



有珠山にて



お湯に浸かった後は美味しい食事に舌鼓

き見学し、千歳で昼食をとり札幌ビール工場へ。グラス片手に「かんぱい」と試飲をし、新千歳空港へ。バスガイドさんとお別れをし、3泊4日の春爛漫な旅行となりました。

無事旅行を終え、普段見ること感じることの出来ない旅行となりました。これも皆様の協力のもと開催できた旅行です。旅行に限らず年金友の会ではたくさん行事を行っていますので、今後も多くの参加をお待ちしております。3泊4日の長旅お疲れ様でした。

新規会員の加入促進に力をいれたい

中春別農協年金友の会(高橋昌晴会長)では、6月20日に第29回通常総会が農業者団地センターにて行われました。

開会に先立ち高橋会長により、「年々会員数減少による組織衰退傾向があるため、年金友の会への新規会員の加入推進を組織として力を入れていきたい」と組織の現状を語っていただき、続いて来賓を代表し小湊組合長より挨拶をいただき、本総会が開催されました。

総会進行にあたり、議長に美原地区・田中堯幸さんが選出され、議事に入りスムーズな進行のもと議案第1号〜議案第4号をとり進めていき、全議案出席者賛成のもと無事終了いたしました。

また、本年度は役員改選の年でありました。新役員については以下の通りとなりました。

- | | |
|---------|----------|
| 会長 | 高橋 昌晴(再) |
| 副会長 | 田口 正己(再) |
| | 西川 稔(再) |
| 平間 勉(新) | |



真剣に耳を傾ける参加者のみなさん



挨拶をする高橋会長

すがすがしい青空の下、いい汗かきました

総会終了後、中春別ヘルスパークにて春季スポーツ交流会を開催しました。天候にも恵まれ、青空の下気持ちのいいスタートを切ることが出来ました。パークゴルフ、ゲートボールともに元気な声飛び交い、終始元気な姿を見せていただきました。

総会、春季スポーツ交流会とともにたくさんの方々が参加ありがとうございました。また、年々会員数が減少する一方、年金受給者はこれから増えていくと思われまます。これから



元気な声飛び交いました

ら年金を受給する方、すでに受給されている方で、「年金友の会へ参加してみたい」という方がおりましたら、気軽に年金友の会の事務局までご連絡ください。

パークゴルフ

男子の部

- 優勝 佐竹 秋生
準優勝 田口 安次郎

女子の部

- 優勝 金子 ケイ
準優勝 富永 フクエ



パークゴルフ女子入賞者の方々



パークゴルフ男子入賞者の方々

酪農体験を通して 食の「安心・安全」を確認

生活クラブ生協組合員3人(須加深雪さん、井上沙織さん、農野弘美子さん)の方が、東京より6月18日〜6月20日までの3日間の日程で、豊原地区の奥山牧場で酪農体験を実施しました。

北海道の東端にある事も、あり交通の便が悪いため、1日目は移動日だけで作業はなし、せつかく来ていただいたので、意見交換も合せて懇親会の開催をさせてもらいました。懇親会には、奥山秀幸さん、酪対より西川

会長 斉藤常任委員、浮川常任委員、佐藤常任委員、農協より望月理事、伊藤理事、館内営農部長他職員4人が参加しました。我々生産者側も消費者と直接話をできる機会が少なくもあり、生の声を聞ける良い機会にもなりました。

2日目から本格的に作業の開始です。朝5時に牛舎に行き実際に作業をしたいのですが、皆さん筋がいい！上手に子牛にミルクをあげて寝床の掃除をして、次は搾乳体験。搾乳する機械が予想よりも意外



1日目は歓迎の懇親会を開催



奥山氏による本格的ピザをご馳走



子牛のミルクやりも大事な仕事のひとつ



予想よりも重い搾乳機に悪戦苦闘する3人

周湖の水が原水であり、人は勿論だが牛も同じ水を飲んで育っているため、摩周湖の水がどんな物なのかを見てもらうため摩周湖へ行くことにしました。摩周湖は世界第2位の透明度を誇るカルデラ湖であり、霧がいつもかかっている事でも有名で、霧の摩周湖とも呼ばれています。幸いにして当日は少し霧はかかっていた

と重いよ
うで、乳頭
に付ける
のがちよつ
と辛いよ
うでした。
夕方の作
業まで時
間がある
ことから、
天気も良
いことも
あり、摩周
湖へ行く
ことにし
ました。な
ぜ摩周湖
なのかと
いうと、別
道水は摩
周湖の水
が原水で
あり、人
は勿論だ
が牛も同
じ水を飲
んで育っ
ているた
め、摩周
湖の水が
どんな物
なのかを
見てもら
うため摩
周湖へ行
くことに
しました。
世界第2
位の透明
度を誇る
カルデラ
湖であり
、霧がいつ
もかかっ
ている事
でも有名
で、霧の
摩周湖と
も呼ばれ
ています。
幸いして
当日は少
し霧はか
かっていた

もの、きれいに湖が見え
ました。帰ってきてからは、
夢 伝承館館長(奥山秀助氏)が
ピザを本格的(レンガの窯)
に焼いていただき、試食を
した後作業に入りました。
3日目は朝の作業を終え
て帰宅の準備をして一路中
標津へ。飛行機の時刻まで時
間がある事から、中標津町
開陽台(空港から近いため)
へ行きました。330度視
界が開けており、地球が丸
く見えることで有名です。
開陽台に隣接する町営牧場
には牛が放牧されており、
広大な大地で牛たちものび
のび育っているところを見
ていただきました。
牛乳・乳製品や牛肉がど
のような場所で生産されて
いるのかを見ていただけ
たことが、今後の消費拡大に
繋がればと思います。また、
参加された方については、
農産物などに対し正しい知
識を身につけるために勉強
をなさっていること、酪農体
験を通じた、消費者と生産
者とのコミュニケーションを
図り、また、「安心・安全」を
少しでも理解いただけたこ
とと思います。



しっかり積み立てて、安心して豊かな老後を!
国が支える、大きな安心!

農業者 年金

あなたに伝えたい 5つのこと

- 1 老後に欠かせないものは、「健康」「友達」「生きがい」「お金」です。
- 2 死んで遺族に役立つ金よりも、老いて自分に役に立つ年金を持ちましょう。
- 3 自分の老後は、自分で計画を立てて考えないと、誰も面倒を見てくれません。
- 4 掛けた保険料を取り戻すことが年金の目的ではありません。老いたときに、安定収入の道を確認しておくことが年金の目的なのです。
- 5 現金や貯金は使えば使った分だけ減り続けます。しかし、年金は使っても必ず後から再び振り込まれてくるものです。

国が支える 安心が大きくなる

担い手積立年金

「担い手積立年金」は農業者年金の愛称です

経営者だけでなく、夫婦や親子で
そろって加入することを
おすすめします!!

- あなたの老後の備えは十分でしょうか?
- 年金は家族一人ひとりが準備することが大切です!
- 農業者年金は、あなたの老後をサポートします。

あなたが60歳未満の国民年金の
第一被保険者なら、
年間60日以上農業に従事
していれば農業者年金に加入できます。

詳しいお問い合わせ・ご相談は

JA中春別営農振興課まで ☎0153-76-2241

川をきれいに保全し、自然にやさしい環境をつくろう

河川流域における環境保全などについて相互理解を深め、環境に配慮した資源環境循環型酪農を推進する



重太郎9号橋付近に設置された看板



春別川付近に設置された看板

ため、中春別地域河川流域環境保全推進委員会（西川寛稔会長）では、縦180cm×横270cmの河川啓発看板（川と海と大地はひとつ）を2基設置いたしました。場所は、重太郎川9号橋付近と春別川（農協集合住宅）付近に設置いたしました。今後も委員会では継続的に、河川流域環境保全に関する調査、検討、啓蒙活動、さらには植樹活動を実施してまいります。

JA中春別植樹祭

森・川・海をひとつに豊かな自然環境づくり



約100人の参加者が1本1本丁寧に植樹しました

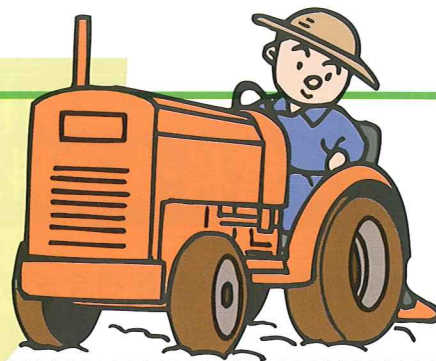


JA中春別では6月12日（水）に、床丹川の支流である重太郎川9号橋近辺の草地0.32haにおいて植樹祭を行いました。

当日は農協組合員や別海町役場、野付漁協組合や根室振興局など多数の関係機関より参加いただき約100人の参加者の中開催され、桜・ナラ・クルミ・エンジュ・イタヤカエデ・ヤチダモ合わせて750本の苗木を1本1本心を込め丁寧に植樹いたしました。スコップを片手に額には汗を滲ませ、「5年後10年後に苗木からたくましい木々へと生育するのが楽しみ」との声があがるなど、清々しい気持ちで植樹祭は幕を閉じました。

昨年度より中春別地域河川流域環境保全推進委員会を設立し、今年で2度目の植樹祭となりましたが、今後も環境に配慮した資源循環型酪農の推進を行う計画であります。

農作業事故防止に 努めましょう!



作業機を操作する場合

農作業を安全に行うためには、日頃から安全意識を持ち、農業用機械・器具の日常点検や適正な操作を通じ安全な作業の実施を心がけることが必要です。

- 作業前に点検整備を行きましょう!
- 回転部等の整備は必ずエンジンを切って行いましょう!
- 異常等を感じた場合は、すぐに点検し、整備と周知を行いましょう!
- 不安定な場所、危険な場所へ作業機を動かさないようにしましょう!
- 作業予定を事前に確認し合い適正な労働配分に努めましょう!
- 緊急時に備え、家族や補助作業者にトラクターのエンジン停止方法や作業機械の動力遮断方法を周知して下さい。
- 近年は高齢者の農作業事故が全国で多発しています。自分では気付くかもしれませんが歳を取るとつれ、集中力、判断力は衰えている事を自覚して、作業機を操作しましょう!

作業環境への配慮

作業中に『ヒヤリ』と感じる事があると思いますが、この『ヒヤリ』の影に事故が潜んでいると言われていています。危険な場所や行動はなくしていきましょう。

バンクリーナーのミッション部分の整備等で転落してしまう事故が起きていますので、手すりを付けたり一人で作業しない等の安全対策を行いましょう。作業者だけでなく周辺の子供等にも車両や作業機の下など危険箇所には近づかないよう徹底しましょう。

ケガをしてしまったら

万一、ケガをしてしまった場合は速やかに病院に行きましょう。担当の医師に労災が使えるか必ず確認してください。労災が使えない場合は国民健康保険を使って料金を支払ってください。労災対応の場合、病院・薬局で料金を支払う際に、労災を使う事を伝え、料金を支払わないでください。

(労災が使えるのに国民健康保険を使って料金支払いすると、労災の手続きが長期化、複雑化しますので宜しくお願い致します。)労災を使った場合は、行った病院・薬局を必ずメモし、印鑑を持って農協の経営相談課までお越しになってください。

大きく成長して帰ってきてね!

毎年行っています夏期預託牛の入牧が6月1日(土)に共和育成牧場にて行われました。

当日は早朝から家畜車により、元気いっばいな牛達が共和育成牧場に集められました。集められた牛は個体識別番号とネック番号を確認し消毒後、授精牧区毎に振り分けられました。

これから約5カ月にわたり、広大な牧草地帯に放たれ、新鮮な牧草をたくさん食べ、のびのびと暮らした牛たちが一回りも二回りも成長し、秋の下牧の際に組合員宅のもとへ帰っていくことでしょう。



北海道別海高等学校 酪農経営科・専攻科だより

【経営科】野菜苗・花苗販売会を実施!

5月18日(土)、毎年恒例となった本校の「野菜苗・花苗即売会」が温室で行われました。

良い天気とは言えませんでしたでしたが、多くのお客様に来校していただき、花の苗や野菜の苗を沢山買っていただきました。



沢山のお客様が来てくれました

対応した本校酪農経営科の生徒たちは、「ずっとお客さんが続いて大変でした」と言いながらも、充実した表情を浮かべていました。学校がある日にも販売しているので、購入希望の方は買いに来て欲しいと思います。

【文責:大村】

●【経営科】JA道東あさひ別海地区女性部 寄せ植え講習会を実施!

6月2日(日)毎年恒例になっているJA道東あさひ別海地区女性部を対象とした寄せ植え講習会が実施されました。最初に本校大村のほうから、寄せ植えに使う用土の種類と特徴について詳しい



上手に出来ました

説明があり、本校で使う用土の配合割合などの話を聞きました。その後、自分達で植える花苗を選び、バランス、色合いなどを考えながら寄せ植えに取り組みました。毎年参加されている方もいて、手際よく上手に寄せ植えを造られていました。参加された別海地区婦人部の皆様、お疲れ様でした。

【文責:鈴木】

【経営科】野菜苗・花苗販売会を実施!

6月3日(月)、今年で12年目を迎えた、くるみ幼稚園との交流会「ふれあい農園」を実施しました。

幼稚園の年中、年長約50人と高校生1~3年生43人が、お互いに手を取り合いながら、ジャガイモの植え付け作業を実施しました。



今回は幼稚園児のために、ポテトマンが登場しました。雑草大王(悪役)を退治して幼稚園児に大受けのキャストングでした。

秋には、収穫と試食を行い、より交流を深める予定になっています。

【文責:大村】

●【専攻科】「農業特別専攻科学生研修会」が開催されました!!

5月13日(月)~15日(水)に農業特別専攻科学生研修会が富良野緑峰高校を当番校にして行われ、学生9人が参加してきました。道内に2校しかない農業特別専攻科の学生同士の交流を深め、研修から多くのことを学ぶことを目的に、富良野緑峰高校専攻科との間で行われているもので、今年で39回目を数えます。



富良野緑峰高校学生と一緒に

1日目は朝8時に本校を出発して、北見農業試験場へ向かいました。北見農業試験場では、寒冷地に適した牧草の品種改良について、詳しく説明を受け、試験圃場を見学しました。学生からは、「これから草地更新の際には、早生、中生、晩生を使い分けたい」といった声が聞かれました。その後、旭川へ向かい、男山酒造の資料館見学をおこないました。2日目は旭山動物園見学後、別海とは違った雰囲気のある田園風景を眺めながら、交流会場である富良野へ向かいました。富良野緑峰高校に到着し、校舎見学後、スポーツセンターにてレクリエーションを実施しました。始めは富良野緑峰高校の学生達との間にやや緊張感の残るスタートでしたが、少しずつ緊張も解け、レクリエーション後の夕食交流会では、すっかり意気投合する両校の学生の姿がありました。



北見農業試験場

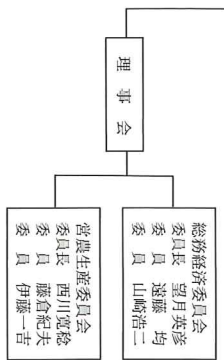
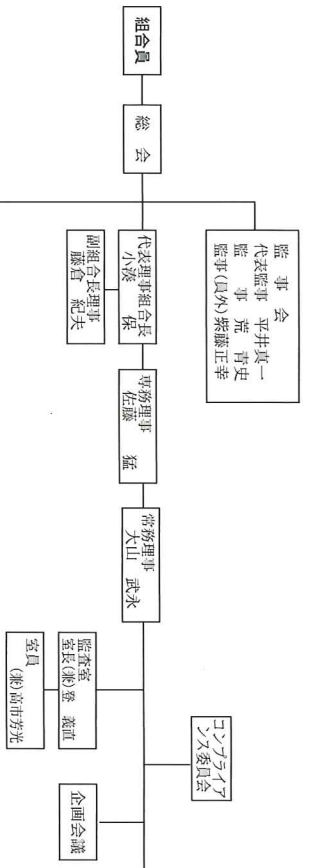
3日目には、JAふらの研修室にて、フラノマルシェの販売戦略についての講演を受け、その後、実際にフラノマルシェの見学に向かいました。消費地での顧客のニーズに沿った農産物販売システムを見ることで、今後の経営スキル向上の一助になったと思います。全体を通し、学生からは、多方面から農業を学ぶことができた研修になったという声が多く聞かれました。



フラノマルシェ

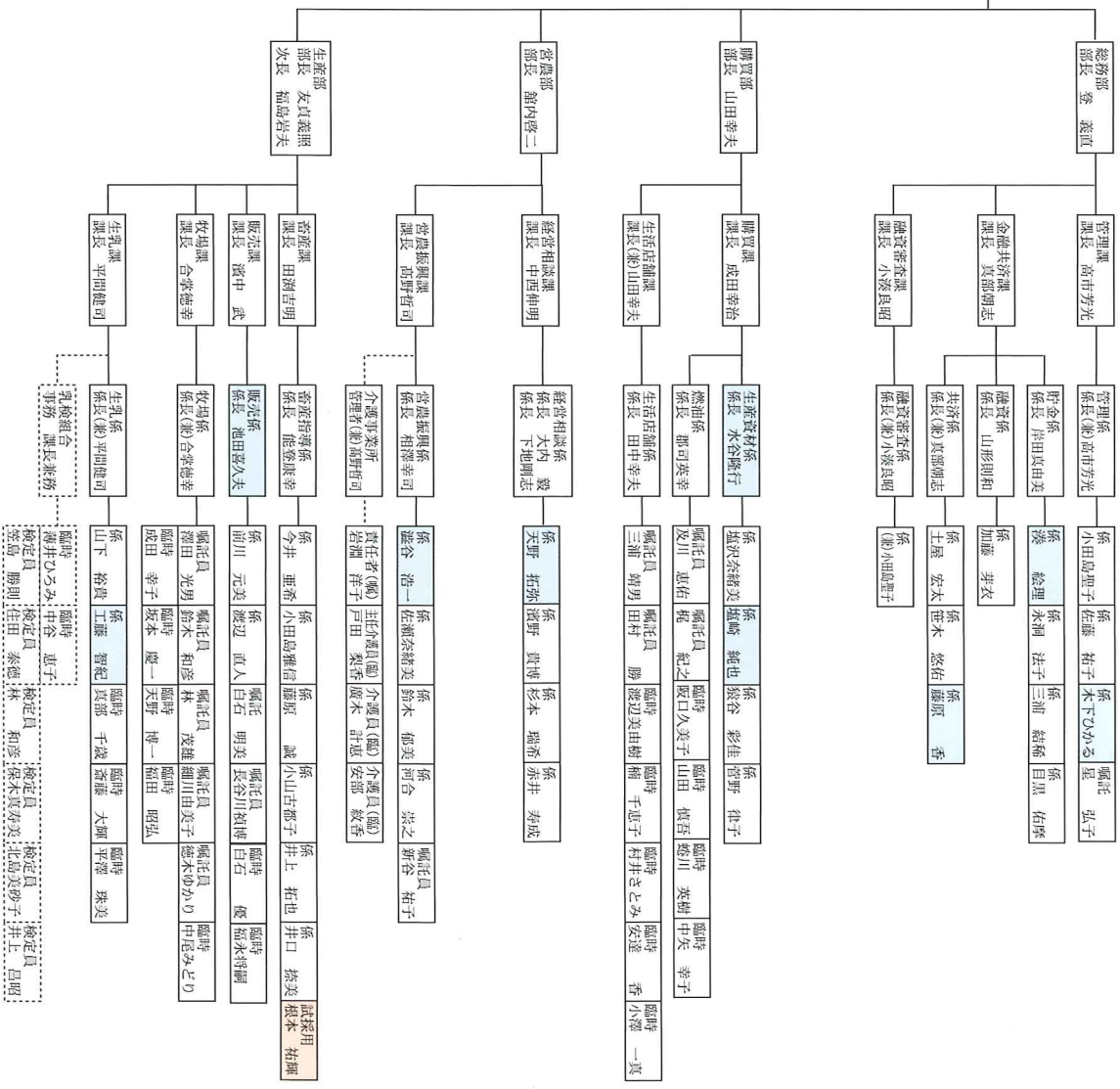
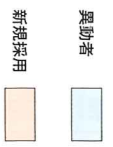
【文責:中村】

JIA中春別 組織機構図と職員配置図



職員構成

区分	男	女	計
正職員	39	19	58
嘱託	1	1	2
小計	40	20	60
嘱託員	8	4	12
臨時	10	15	25
小計	18	19	37
計	58	39	97
(検定員)	4	2	6



機構構成

室	1
部	4
課	11
係	14
事業所	1小渡
組織	1乳検

平成25年7月1日現在



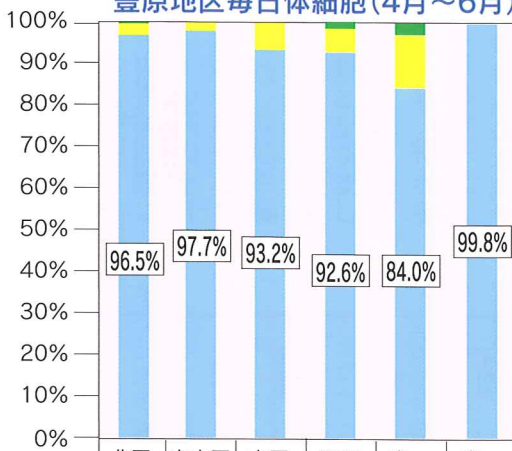
生乳汚染事故を無くそう！

- 抗生物質混入事故……JA中春別発生件数 1件 管内では 2件です。
- 生菌による汚染事故…JA中春別発生件数 0件 管内では 0件です。
- 異物混入、加水による汚染事故…JA中春別発生件数 0件 管内では 1件です。
- 異臭、異常風味による汚染事故…JA中春別発生件数 0件 管内では 0件です。
- 血乳による汚染事故………JA中春別発生件数 0件 管内では 0件です。

“きれいで安全な生乳生産のために”

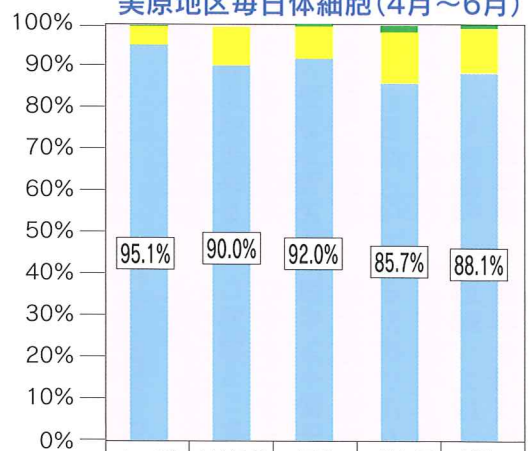
牛の飲料水はどうですか？
 水槽周辺や、ウォーターカップの汚れは大丈夫ですか？
 きれいな水で、たくさん食べれる環境で体力UP!!
 (体細胞数30万を超えたバルク乳は乳房炎牛の存在を疑ってみましょう)

豊原地区毎日体細胞(4月～6月)



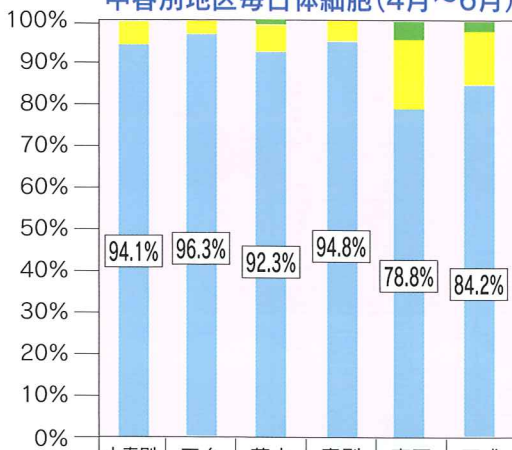
■ 50.5万以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	1.3%	0.0%
■ 40.5～50.4	0.7%	0.0%	0.2%	1.2%	2.2%	0.0%
■ 30.5～40.4	2.8%	2.3%	6.6%	5.6%	12.5%	0.2%
■ 30.4万以下	96.5%	97.7%	93.2%	92.6%	84.0%	99.8%

美原地区毎日体細胞(4月～6月)



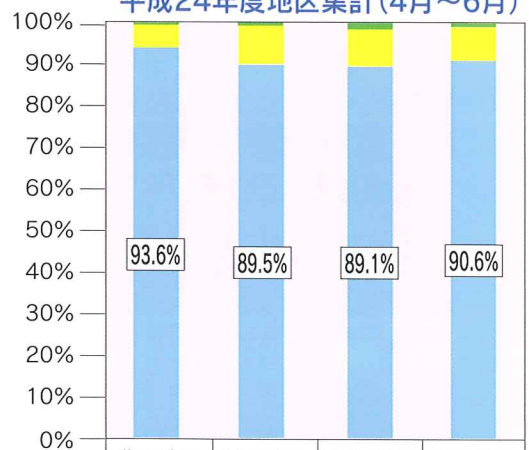
■ 50.5万以上	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%	0.1%
■ 40.5～50.4	0.4%	0.8%	0.8%	1.9%	1.3%
■ 30.5～40.4	4.5%	9.2%	7.0%	12.2%	10.5%
■ 30.4万以下	95.1%	90.0%	92.0%	85.7%	88.1%

中春別地区毎日体細胞(4月～6月)



■ 50.5万以上	0.9%	0.1%	0.0%	0.4%	1.0%	0.3%
■ 40.5～50.4	0.3%	0.3%	1.5%	0.0%	3.5%	2.7%
■ 30.5～40.4	4.7%	3.3%	6.2%	4.8%	16.7%	12.8%
■ 30.4万以下	94.1%	96.3%	92.3%	94.8%	78.8%	84.2%

平成24年度地区集計(4月～6月)



■ 50.5万以上	0.3%	0.1%	0.4%	0.3%
■ 40.5～50.4	0.7%	1.2%	1.7%	1.2%
■ 30.5～40.4	5.4%	9.2%	8.8%	7.9%
■ 30.4万以下	93.6%	89.5%	89.1%	90.6%

議案

1. 平成25年度理事報酬額の配分(案)並びに支給方法について
2. 平成24年度事業版ディスクロージャー誌による開示について
3. 出資金の減口について
4. 平成25営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
5. JA畜産経営継承支援事業申請について
6. 農畜産業機械等リース支援事業の公募申請及び実施について
7. 平成25営農年度特定指導組合員担当理事(案)について
8. 固定資産の取得について

報告事項

1. 役員会議日当の設定について
2. 職員の退職について
3. 平成25年度試用採用職員の農家実習終了について
4. JA財務モニタリング実施要領に基づくアウトライヤーJAに関する報告について
5. 組合員加入について
6. 組合員の脱退について
7. (社)北海道農協経営審査協会による内部審査報告書について
8. 平成25年度役員体制及び役割分担について
9. 免税軽油共同使用者証代表者の変更について
10. 平成25年度5月末営農生産関連実績について

5月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

		単価	算出基礎	支払乳価	前年同期	差	
乳脂肪分		795.898		31.33	29.92	1.41	
無脂乳固形分		501.521		43.95	42.34	1.61	
補給金		5.0463		5.05	4.78	0.27	
計画チーズ奨励金							
乳質単価	生菌数	ランク1	2	328,032,857.6kg	3.68	3.68	0.00
		ランク2	0	6,770,965.7kg			
		ランク3	-3	469,241.1kg			
	体細胞数	ランク1	2	278,747,290.2kg			
		ランク2	1	30,298,479.7kg			
		ランク3	-2	4,788,319.6kg			
合計				84.01	80.72	3.29	

5月分乳代支払単価

項目	単価(円)/(kg)%	
乳脂肪分①	31円33銭	
無脂乳固形分②	43円95銭	
補給金③	5円05銭	
チーズ奨励金④		
脂肪率	全道	3.94%
	農協	4.03%
無脂固形分率	全道	8.76%
	農協	8.73%
成分乳価	全道	80円33銭
①+②+③+④=⑤	農協	80円91銭
乳質乳価⑥	全道	3円68銭
	農協	3円76銭
乳代合計	全道	84円01銭
	農協	84円67銭
⑤+⑥	差異	66銭

スナイデルです



モドリッチです



ハッセルバインクです



ハムシクです



楽しい家族と一緒に

キャバリア犬♂ 2歳

雑種犬♀ 13歳

鬼澤さん家のスナイデル(愛称・スナちゃん)くん・ハッセルバインク(愛称・ハス)ちゃん

雑種犬♀ 13歳

モドリッチちゃん(愛称・モド)・ハムシクちゃん

雑種猫♀ 3カ月

美原地区・鬼澤 玄造さん家

★飼い始めたきっかけ

スナはリビングのドアを叩いてきました。最初は皮膚病にっていたので分からなかったけど、病院に連れていき、毛が生えてきてからキャバリアだと気付きました。

ハスは保育園に捨てられていて車に呼ぶと乗ってきたのでそのまま家に連れ、モドは冬に家の裏に捨てられていたのをそのまま飼いました。ハムシクは4月7日牛舎で生まれました。

★名前の由来

スナイデルはハゲていたので、ハッセルバインクは茶色い顔が特徴で、モドリッチは白い顔が似ていて、ハムシクは模様が髪型に似ているので!みんなサッカー好きな玄造さんが名づけました。

★好きなこと(もの)はなんですか?

スナちゃんとモドは食べるのが好きです?ハスはお散歩!鹿を見ると興奮し、散歩の途中で鹿の足を持ってきて食べることもありましたが!どれも捨てられていたので食べることに執着するみたいです!

★PR

家の中にハムシクが仲間入りしたので注目が半減。少しノイローゼ気味?のワンちゃんです。

編集後記

▼一番草の収穫作業も始まり、組合員の皆さんの意気込みをひしひしと感じられ、また今年もこの時期がやって参りました。去年と比較すると日中と夜の温度差が激しく、若干寒いような気もしますが、先月は小学校の運動会や豊原の運動会など夏のような日差しが日によって見受けられ、熱射病対策、日焼け対策が必要なほどでした。これからの本格的な夏に向け、体調管理は万全を心掛けてほしいと思います。

▼さて、今月の組合だよりでは小学校や地域などのイベントを掲載しております。小学校の運動会では男の子も女の子も関係なく子供たちのこんがりと焼けた肌が目につき、太陽の下でたくさん練習したことを物語っておりました。この調子で夏休みを突入し、大人も子供も夏の暑さに負けず過ごして欲しいと思います。